

【退院時情報提供】看護サマリ 記載ガイドラインについて

入退院支援ガイドブックは、在宅の支援者から病院の医療者へ、また、病院の医療者から在宅の支援者へ、患者の支援を着実に引き継ぐことができるよう作成されました。

平成 28 年の運用開始時には、【退院時情報提供】看護サマリ 統一項目として、病院から情報提供していただく項目を記載しておりました。

今回、入退院支援ガイドブックの改定にあたり、在宅療養コーディネーター（地域包括支援センター職員・介護支援専門員・障がい相談支援員）・訪問看護師への運用調査結果に基づき、令和 4 年、令和 5 年の入退院調整ワーキンググループで検討し、在宅での支援をスムーズに進める際に必要性の高い項目を追記させていただくこととなりました。

尚、本ガイドラインの項目は、名称を「看護サマリ統一項目」から「看護サマリ記載ガイドライン」に変更し掲載を致します。

必ず全ての項目を記載し情報提供していただくかなくてはならないということではなく、在宅療養コーディネーターや訪問看護師等が在宅支援をスムーズに開始するために大変重要な項目であるということを、病院の皆様に、ご理解いただき、患者の状態・家族等介護者の状況等に応じ、必要と思われる項目につきまして、情報提供をいただきますようお願い致します。尚、在宅療養コーディネーターや訪問看護師に情報提供していただいた看護サマリについては、必要時他のサービス事業所担当者と情報共有致します。

病院での医療と在宅医療・介護サービスがシームレスかつ、スムーズに提供されるよう、本ガイドラインの項目に基づき、看護サマリにて在宅療養コーディネーターや訪問看護師への情報提供をお願い致します。

【退院時情報提供】看護サマリ 記載ガイドライン

※下線が今回の改定の追記部分です

病状・経過

- 次回受診日（医療機関名：外来 or 訪問診療、受診頻度）
- 病院から患者・家族への病状の説明内容
- 病状説明の際の、患者の反応・理解度・受け止め方など
- 病状説明の際の、家族または支援者の反応・理解度・受け止め方など

本人の意向・意思決定支援に関する事

- 希望の療養場所
- 治療に関する希望
- 本人の価値観・大切にしていること・希望 など
- 代理意思決定者（氏名・続柄）

A D L

- 移動、移乗、食事、排泄、入浴、整容、更衣 その他必要な項目
- 「見守り」「一部介助」の場合は、入院中の具体的な援助方法を記載
- 食事制限・水分制限・運動制限
- 入浴許可の有無、入浴時の注意点、入浴時の体温や血圧の目安

服薬管理

- 病院での援助方法

医療処置

- （在宅・施設での）具体的な方法
- 処置をする人（本人・家族）
- 処置の手技の習得状況

留置デバイス

- 製品名・サイズ・何センチ固定 など

療養上の問題

- 入院中の療養上の問題 有（具体的内容）・無
- 退院後予想される療養上の問題 有（具体的内容）・無